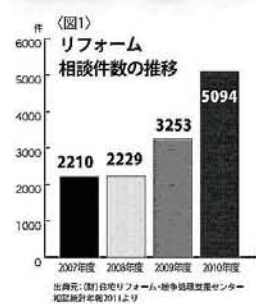


あなたは大丈夫？

住宅リフォームの心配ごと



最近、「自宅を大がかりに改修したい」というニーズが高まっていますが、その一方で、リフォーム工事によるトラブルも増加しています。それを未然に防ぎ、それでもトラブルが起きたら保険でカバーされるのが「リフォーム工事瑕疵保険」。リフォームの予定がある方は、この保険を上手に活用することが大きな安心につながります。さっそく、確認してみましょう。

- こんなことが気になる方は要チェック！
- どここの業者へ依頼して良いかわからない。
 - トラブルが多いと聞くので心配。
 - 万が一、欠陥があったらどうしよう。
 - デザインも大事だけど工事は大丈夫かしら。

「リフォーム工事瑕疵保険」保険金の支払い対象と保険期間

構造	保険期間
構造耐力上主要な部分が基本的な耐力性能を満たさないこと。	5年間※
雨水の浸入を防止する部分が防水性能を満たさないこと。	5年間※
構造、防水以外の部分が、社会通念上必要とされる性能を満たさないこと。	1年間

※ただし、「その他の工事に起因した」構造と「防水」の損害については1年間

そこで、国土交通省では消費者が安心してリフォーム工事を行えるように、2010年3月、リフォーム工事瑕疵保険「リフォーム工事の見積り無料相談制度」弁護士や建築士などの専門家に、リフォームの3つの制度をスタートさせました。このうち「リフォーム工事瑕疵保険」は、施工後

新築住宅の品質が向上し、日本の建て替えサイクルは、年々長くなる傾向にあります。それに伴い、設備の取り換えに開けたリノベーション化に向けたリアプライズ化、快適性を旨とした断熱性能の向上など、ライフステージの変化に合わせてリフォームをする人が増えています。ところがリフォームも増加しており、財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センターへのリフォーム工事に関する相談件数は、この数年で急増しています。

増加するリフォームトラブルから消費者を守る新制度「リフォーム工事瑕疵保険」

現在、同保険を扱うのは国土交通大臣から指定された5法人。その中でも特に「検査」に力を入れているのが「LIXILグループの日本住宅保証検査機構(JIO)」です。一件でも多くのトラブルを未然に防げればという思いから、JIOでは社員検査員を約120人と充実し、全国に2800人いる委託検査員への教育・指導も充実させ、検査方法や注意点を細かく部分まで徹底を図っています。

に生じたトラブルを保険でカバーするもの。保険に加入する第三者である専門家(建築士資格者)による工事のチェック(「検査」)も行われるため、工事の品質が確保され、トラブルの減少にもつながります。利用方法は、リフォームの契約後、発注者(施工業者が着工前に住宅瑕疵保険専門の保険法人に申し込みます。



屋根を未然に防ぐ「検査」が保険には含まれる。

いままでは

安い！デザインも素敵！

でも、何か忘れてない？

リフォーム依頼時

プロの検査+保証

これからは

リフォーム業者は連絡とれないしこまった...

実費 ¥

我慢して耐える

まさかの雨漏り発生！

保険で補修できる。

びっくりしたけどよかったわ。

保険で補修

品質を確保する「検査」と事故が起きた時の「保証」がセットになった保険

保険に加入するのは施工業者、消費者(発注者)が着工前に加入希望の意を表明する

保険期間は、柱や梁などの基本構造部分の構造耐力性能と、屋根や外壁

※1 保険契約対象の事故が起きた場合、発注者に直接保険金を支払う場合の免責金額は、1事故あたり10万円

※2 ただし、構造耐力性能または防水性能が低下した場合は1年間保証する方法も可能です。

新築住宅でも雨漏りが発生することは意外と多く、新築住宅入居後5年以内で1%近い住宅に雨漏りが発生しています。このように、工事のちよっとした瑕疵が、しばしば重大な事故につながる。「リフォーム工事瑕疵保険」に加入することが、後のトラブル防止に役立ちます。またこの保険契約は、施工業者が発注者へ保険と同等以上の保証をする条件にしているのが安心です。さらにその補修にかかる費用を保険でカバーできるので、必要な補修工事を確実に実施することができ、万が一、保険期間内に施工業者が倒産、廃業していても、発注者から直接、保険法人に保険金を請求できるのも大きなメリットです。

またこの保険契約は、施工業者が発注者へ保険と同等以上の保証をする条件にしているのが安心です。さらにその補修にかかる費用を保険でカバーできるので、必要な補修工事を確実に実施することができ、万が一、保険期間内に施工業者が倒産、廃業していても、発注者から直接、保険法人に保険金を請求できるのも大きなメリットです。

「瑕疵保険」は、新築の場合には義務※3ですが、リフォームの場合は任意保険に申し込むことで、発注者である私たちが施工業者に「リフォーム工事瑕疵保険」を付けてほしいと伝えることが大事です。この保険を上手に活用して、安心できる家づくりに役立てましょう。

住宅かき保険

保険をつけないリフォーム工事は、自動車保険に加入しないで、車を運転するようなものです。

まさか自分の家が...意外に多いリフォームによる住まいの瑕疵(不具合)。「JIOリフォームかき保険」は、そのまさかに備える保険です。

JIOリフォームかき保険

- JIOリフォームかき保険 3つの安心。
- ① 保険引受けにあたって現場検査を実施。▶ 瑕疵の防止を図るため建築士が検査するから安心。
 - ② 補修費用を保険でサポート。▶ 瑕疵が発生しても保険でカバーされるから安心。
 - ③ 施工業者が倒産等の場合、発注者様からの保険金請求が可能。▶ 万が一のときでも、直接保険金を請求できるから安心。